

令和2年度 農林水産業版タウンミーティング（農業版：浪岡地区）会議概要

日 時：令和2年10月5日（月）18:00～19:00

場 所：市役所浪岡庁舎 2階 大会議室

参加者数：4名

市側出席者：市長、浪岡区長、農林水産部長、浪岡事務所副所長、農林水産部次長、農業政策課長、
あおもり産品支援課長、農地林務課長

■昨年度いただいたご意見への対応状況

⇒ 配付資料のとおり

■主なご意見・ご要望等

○近年生産者の高齢化等により、再編が必要な共同防除組織が増えてきているが、再編する際は市も調整に協力してほしい。また、再編するにあたって必要となる機械の購入支援を行ってほしい。

⇒ 共同防除組織の活動は、高品質なりんごの安定生産にとって重要な役割を果たしており、市としても地域に必要な組織であると考えていることから、青森農業協同組合等の関係団体と連携し、新たに必要となるスピードスプレーヤーの導入に係る補助事業の情報提供など、様々な形で再編に協力していきたいと考えている。

また、今年度から市では、りんご等の果樹園地において、ドローン、IoTセンサー・カメラやアシストスーツの先端技術を活用したスマート農業技術の実用性や効果等を検証するための実証実験を行っており、今後、共同防除組織単位でのスマート農業機器導入に関するニーズを把握し、必要な支援策等の検討を進めていきたい。

○平成28年度から市が実施している防風網の張替支援を継続実施してほしい。また、現在補助対象となっていない金具やワイヤー等の付属部品等についても補助対象に加えてほしい。

⇒ 当該事業を活用した防風網の張替については、自園地の全ての防風網の張替を1年で行った場合、自己負担が大きくなり過ぎるため、複数年に分けて実施している例もあるなど、今後も事業を継続してほしいとの声が生産者から寄せられている。

市としては、良品なりんごの安定的な生産にとって防風網の整備は重要であるとの考えから、来年度以降も同事業の継続について検討しているところであり、既存の金具やワイヤー等の補助対象への追加についても併せて検討していきたい。

○今後の農家のあり方として、収入が増えるように生産物の販路を拡大することが重要な課題と考えるため、コメの輸出販売を行う際の市の支援策について聞きたい。

⇒ 本市でも新たな販路を確保することが重要であると考え、青森市地域農業再生協議会で、輸出米の買取価格が安いことから新たに国の事業を活用し、主食用米と同等の価格になるよう疎植栽培等の生産費削減の取組に対して、10アール当たり2万円を上限に助成することとしたところ、今年度は4件で10.4ヘクタールの取組があるなど高い関心が向けられており、引き続き輸出業者などの情報提供に努め、面積拡大が図られるように努めていく。

今後も、農家が安心してコメづくりが行えるようコメの輸出を含め、新たな販路の確保に向けて、青森農業協同組合など関係団体と連携して取り組んでいきたい。